

議会へ行こうー!!

第1回定例会を傍聴いただきました市民の皆さまの感想や意見をご紹介します。
ご協力ありがとうございました。

「今こそ真の街づくり」

岩腰 誠充(留萌市末広町3丁目)

今、心ある留萌市民なら誰しも財政再生団体になってはいけない、なりたくないとの思いが強いと思います。そんな思いを持つ一市民として議会の傍聴させていただきました。議員2人の一般質問を傍聴しましたが、時間も短くその感想とともに、別の角度から日頃の思いを述べさせていただきます。

いま、巷間囁かれる市民の声を集約すると、留萌市がこの窮状に陥ったのは、やれ市長がどうの、議会は何してる、市議員は？等々、「犯人探し」に躍起になっているように思われます。しかし何時までも責任論の展開ばかりでは「財政再建計画」は進みません。

市長の強固な方針のもと、議会、市議会議員、そして市民が危機意識を共有し、夫々の点が強い線で結ばれ今こそ真の「協働の街づくり」をしなければならないと思います。

先ず大切なことは、市当局、議会、市議会議員、そして市民との間の温度差、不信感を払拭しなければならないと思います。議員の皆さんも議会での議論のみならず、日常活動のあらゆる場を通じ、留萌市のこの危機状況の克服、再生に向けての気概を身をもって示してほしいものです。私も一市民として、あるいは地域の町内会活動などを通じてなすべきことは多々あると思っています。今後も市政、議会に興味、関心を持ち参画意識を保ちながら今年度スタートした「財政健全化計画」がより確かに、且つ現実的に成果を取めることを願いつつ今後多くの人にも呼びかけ、議会傍聴を続けたいと思います。

「6年ぶりの議会を傍聴して」

松澤 眞太郎(留萌市沖見町6丁目)

3月10日、第1回定例会本会議の一般質問を6年振りに傍聴しました。厳しい財政危機の中で出された『新財政健全化計画』や『市立病院の改革プラン』は大いに関心がありましたし、又、地域の再生に係わりのある(支庁や開発がなくなる問題に対して)地方分権についての市長の考えはどうかは併聴したく議会に足を運ばせました。議会での一般質問は、4月実施を目の前にした議会でもあり、議員の質問に対する理事者側の答弁もそつのない計画は変えられない強い姿勢も見える説得力には欠けたものとなっております。一問一答方式は、議論に具体性がでて、短い時間での傍聴者にとっても大変分かりやすく良いと思いました。少ない傍聴者の中で、議会への期待感や市民に危機感がないのかという記事を『広報もい』で見ましたが、議会には行政のチェック機能を十分果たす義務がありますし期待もしています。新財政健全化計画は市民にとって厳しいものであり、多くの市民が危機感を抱いていると思います。何としても市立病院の改革によって赤字が解消され、財政健全化が図られることを願います。今後は傍聴の機会を増やしたいと考えております。

「郷土に興味」

武田 佳彦(留萌商工会議所青年部)

私は衰退が続く街にいつも懸念を抱いていました。しかし、打聞の為に「あなたは何かやりましたか？」と問われれば、迷わず「はい」とは答えられず、「この街で商売を営んでいく人間として恥ずかしい」との思いから市議会傍聴に出向くようになりました。傍聴して感じた事。それは終始和やかに進行していく様子が思い描いていた市議会とは裏腹だったことです。議決機関としての役割は果たしているのですが、表向きの答弁のみを繰り返す姿を拝見し、また、年度末に発生した下水道事業会計の専決処分など、危機感ある対応を迫られている自治体とは思えない失態も続き、ゆとりある市民生活を取り戻すことが本当に出来るのか不安になりました。しかしながら、この街を愛すからこそ住居を構える人間にとって、改めて我を見つめ直す良いきっかけともなりました。今後は、「誰かに」「あの人に」といった依存型ではなく、市民自らの意識改革を促しつつ、実践型の活動を展開していただければと思います。

議会です こんにちは

もくじ

- P12 平成21年第1回定例会議決事項
- P13 議会を傍聴して「議会へ行こう」
- P14 紙上政策談 議員7人紹介
- P15 紙上政策談 議員8人紹介
- P16 常任委員会の動き
- P17 ルポルタージュ 第1弾
- P18 第1定例会一般質問項目
- P19 常任委員会役員紹介、用語解説 ほか

第1回定例会(3月2日から3月17日)で可決されました諮問1件、報告2件、議案39件、意見書案6件の主な内容をご紹介します。

諮 問

人権擁護委員の推薦(室谷雄一氏)について 3月17日選任

報 告

留萌市土地開発公社の平成20年度事業計画に関する書類の提出について 他1件

議 案

- 平成20年度一般会計補正予算(平成20年度予算審査特別委員会原案可決)
- 平成20年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算 他特別会計補正予算7件
- 留萌市地域活性化・生活対策基金条例制定
- 留萌市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定について
- 平成21年度留萌市一般会計予算(平成21年度予算審査特別委員会原案可決)
- 平成21年度留萌市国民健康保険事業特別会計予算 他 特別会計予算7件
- 留萌市コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市住民センター設置条例を廃止する条例制定について
- 留萌市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市海のふるさと館条例の全部を改正する条例制定について

- 留萌市観光施設条例の全部を改正する条例制定
- 留萌市観光施設等の指定管理者の指定について
- 留萌市コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 留萌市農村交流センターの指定管理者の指定について
- 留萌市職員定数条例の一部を改正する条例制定
- 留萌市債権管理条例制定について
- 留萌市営住宅管理条例及び留萌市営改良住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市乳幼児等医療費の助成に関する条例並びに留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市廃棄物の適正処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市北海道営土地改良事業分担金等徴収条例制定について
- 留萌市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市土地開発公社定款の一部変更について
- 留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について 他1件

意見書案

- 公契約に関する基本法の制定を求める意見書
- 公的医療機関の安定経営と地域医療の確保を求める意見書
- 雇用対策の充実・強化とセーフティーネットの拡充を求める意見書
- 「緑の社会」への構造改革を求める意見書
- 障害者自立支援法の見直しを求める意見書
- 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書



紙上政策談

No. 2

財政健全化計画のスタート年にあたり、市民と共に汗を流し一步一步乗り越えていかなければなりません。これからの新しいまちづくりの姿や今後の政策などについて、各議員としての取り組みや抱負をご紹介します。

※議席順に掲載しています。



村上 均 議員【留萌公明党】

「更なる意識改革を」

危機的状況にある市の財政を打開すべく「新留萌市財政健全化計画・留萌市立病院改革プラン」の着実な達成が第一であります。

そのためにも〈行政・議会・市民〉意識改革の徹底をさらに進め、歳入の強化・歳出の抑制を図り、行政が住民と情報共有を更に広め、地域産業の育成と地域力を集合させた協働の街づくりについても考えていくべきです。



坂本 守正 議員【民生・市民連合】

「7年間の政策評価を」

財政再生団体への転落を回避し、地域医療を守ることを最優先課題とする新財政健全化計画が策定されました。病院の累積債務35億円は、国の政策によるところが大きな要因であり、また当初計画時の地域医療を担うセンター病院として、施設規模等にまだ疑問符がつく。健全化計画の7年間で、行政の自己評価による政策評価を、議会があらためて評価し直すことが、今後大事な意味をもちます。事実の認定により価値の認定が議会の任務であると考えます。



富田 直樹 議員【萌芽クラブ】

「試される地域力」

7年に及び「健全化計画」に対し市民もマチの蘇生に理解と協力を示すところですが、実生活での痛みが続きすぎると「あきらめ」になりかねません。

行政は計画の進捗を定期的に市民説明するとともに「何がこうなった時点で、あれはこうする」という段階的な負担軽減策（目標）を今から定めておくべきです。市民協働を前提とした計画である以上、対等な立場での対話と評価は欠かせず、計画の達成には信頼関係が最も重要と考えます。



菅原 千鶴子 議員【民主・市民連合】

「安心して暮らせる街づくり」

留萌市内に暮らす生活弱者の方々が安心して暮らせる街づくりを目指して活動します。

特に、障害を抱えながら暮らす方や高齢者の方、その家族が一人一人の尊厳を守り、地域と共に大切に出来る社会を実現するために活動します。

子育て中の方たちが安心して暮らし、働ける街づくりを目指します。

新たなネットワーク社会を作るため行政サービス情報などの携帯電話配信サービスの開始など開かれた市役所作りを求めていきます。



村山 ゆかり 議員【萌芽クラブ】

「世界に誇る食と自然をまもる」

市民が必要とする最小限の行政サービスと民間への業務委託によって、ここ数年間で「自助・共助・公助」の考え方が徐々に実を結び始めています。本物の協働自治を目指すべく自ら汗を流し市民と共に模索し歩み続けます。

古き良き時代の留萌を伝承する『人』『文化』を大切に、世界に誇る食と自然環境をまもり続けながら、多角的な視野と柔軟な発想を培い、新たな「ものづくり」に挑戦するまちを目指します。



原田 丈三 議員【萌政会】

「立ちほだかる財政の壁」

留萌市議会議員の末席を巧みようになって、ちょうど10年、「第1次留萌市財政健全化計画」が策定されたのが初当選2年目の平成12年でした。平成17年には「留萌市財政再建計画」が策定され、再建5年目にして今度は「新・留萌市財政健全化計画」が策定され、今年4月、今後7年間の健全化計画がスタートしたところです。時代の巡り合わせとはいえ、財政という大きな壁が立ちほだかり、市民の思いをなかなか形にすることができません。「世のため、何のための市議会議員」と焦燥と苦悩の連続です。



江澤 順次 議員【萌政会】

「健全化計画のスタートに当てて」

一昨年11月、市長がこのまじく再生団体になる旨、市民に2つの目標を掲げて、本年4月1日に健全化計画がスタートいたしました。この間、市長は市民に連日説明をし、協力を求めてきたところでもあります。誠心誠意と高く野望をするところです。私はこれを成功させるためには、第1に病院の経営改善、第2に市職員の定員削減が必要と考えます。もちろん議会も協力を惜しまずのではありません。

7年間という長いスパンではありますが、努力次第では短縮する可能性は充分あると思います。そう言う望みをもって皆さんと共に留萌市をよきまちにしようではありませんか。



野崎 良夫 議員【民主・市民連合】

「行政の責任感とスピード感を」

今、留萌市は「人口の流出」に直面している。

このことによって、自治体活力の低下と地域経済への影響が図り知れないものがある。同時に、市の「いのちと健康」を守る地域医療の確立も課題となっている。これらの課題解決に市民及び市議員の協力のもと「財政健全化計画」がスタートしたが、

①国からの財政確保と市独自の収入事業で積極的な財政確保をする。
②雇用の確保なくして、人口の流出に歯止めはきかないので積極的な雇用の創出を図る。

③行政としてしっかりした責任感とスピード感が求められる。
④議会として行政に対するチェック能力と機能を更に高める。



松本 衆司 議員【萌芽クラブ】

「新たなスタート」

先ず皆が（市民、市職員、議員）、マチの現状についての共通認識を持たなければならない。今こそゼロの地点、これから留萌市の新たなスタートとして、皆で丸となり進んで行かなければならない。

行政サービスについては、かなり精査してはいるが、今後も尚優先順位をつけ、実施する必要がある。財政健全化という大命題の下で、非常に限られた予算の中であるが、その意義を執行が図られるよう、議員としての責務を果たしたい。



原田 昌男 議員【萌政会】

「経済や地域医療、行政改革の推進」

財政健全化計画と留萌市立病院改革プランの着実な実行とチェック機能の強化。

健康の駅、コホートピア構想の推進、健康づくりに地域住民の協力が不可欠であります。

町内会（市民）と行政（市政懇談会）との情報を共有して意見を交わし、地域づくりが大切であると考えます。



珍田 亮子 議員【萌政会】

「議会は市民の福利のために活動するもの」

市民生活に多大な影響を及ぼす結果となった「新・財政健全化計画、留萌市立病院の改革プラン」が今年度よりスタートしました。今こそ、市民との「情報共有」「市民参加」「協働」の理念に基づく留萌市自治基本条例の議会の役割と責務を具現化しなければと考えております。市の意思決定を行う議事機関、監視機関としての果たすべき役割が一層重要となっております。市の意思を決定する際に、議会の意思と住民の意思が乖離しないように不断の努力をします。



坂本 茂 議員【無会派・共産党】

「財政健全化計画スタートにあたり」

財政健全化を執行する力は市と市民の協力と共働。そのために今必要なことは市役所・市立病院が市民にしっかり情報を伝え、それぞれの課題についてともに議論し推進する姿勢に徹することだと思います。

市民の「話は聞く」が「市の考えを理解してくれ」式の姿勢を改めない限り財政健全化の遂行は難しいと心するべきです。

市と市民の真の協力・共働こそ財政健全化推進の力。



天谷 孝行 議員【留萌公明党】

「再建計画」を不退転の決意で実現

「財政再生団体」に転落する事を避け、7年間で「健全化の道」を選択しました。「市民の理解と協力」で創られた計画、「不退転の決意」で望むべきです。

私は、次の事を「今後の課題」とします。
1、「財政再建計画」の達成が最優先
2、早期に「再建実現」の留萌を示す
3、地域医療の中核、市立病院の「不断の改革」
4、「健康な街」を目指し、「安心医療」の充実
5、地域力の育成で「新・留萌」創出



野呂 照幸 議員【民主・市民連合】

「議会の責任と役割」

留萌市は、今後の財政健全化計画を進める上で大事な時期を迎えています。多くの市民が関心を持って頂くためにも、今までも増して、議会の責任は重要であり、チェック機能を高める必要があります。そのためにも、議会・議員が市民に説明責任を果たす議会報告の設置。また、議会は、住民と自治体が協働をつくり出す上で積極的な役割を果たし、今後の財政健全化計画を進める上で重要と考えます。



小野 敏雄 議員【萌芽クラブ】

「交流人口を増やそう」

財政再建の為に借金返済だけでは将来に夢がありません。「留萌人の底力」を集約して知恵をしまひたい。交流人口の増大を図るべきだと思います。留萌市内の交流人口の活性化には交通手段を持たない高齢者が通院したり商店街に出て感んだり、買い物をする無料コミュニティーバスの実現や街中の仕掛けが必要です。人が動くことによってお金も動くのです。市外からの交流人口増については農業・漁業体験を活かした研修旅行や合宿の誘致、道北圏を視野に入れた映画撮影誘致などのFC活動などで活路を開きたい。

議会広報特別委員会ルポルタージュ (4月7日取材)

第1弾 市立留萌図書館



議会広報特別委員会では新年度から、委員自らが現場取材を行う「ルポルタージュ」のページを新設いたしました。

第1弾は、市立留萌図書館をご紹介します。

1月に開催された第1回臨時会において、指定管理者制度を導入し、NPO法人留萌体育協会を指定管理者とする市立留萌図書館条例の全部を改正する条例制定が可決。4月1日から、



民間委託による図書館運営がスタートしました。指定期間は、平成24年3月31日までの3カ年。

スポーツ施設を管理する体育協会が図書館運営をすることに、一部の市民から疑問の声も聞かれておりましたが、平均年齢26歳という若い職員7人を新採用し、やる気満々の図書館を訪れ、図書館長に就任された伊端隆康さん(写真左)からお話を伺いました。

「本の貸し出し、読み聞かせ、蔵書のレファレンスなど多岐にわたる図書館業務の基本的な流れは変わりません。利用者の立場で施設管理を行い、不平等を排除します。徹底したコスト削減に努めます。利用者のニーズにあった開設日、開館時間を研究します。など30項目に及び管理運営に対する提案事項をはじめ、サービス向上や職員の研修計画から苦情処理の対応まで細かな業務計画書を作成し、職員丸となり取り組んでおります。

毎日の職員ミーティングで出された意見の中からやろうと思ったら実施してみる。やってみてニーズがあれば続け、なければ見直す—というように『やってみる』をモットーにしています。また、当たり前のことですが「ありがとうございます」の笑顔の挨拶を励行しています。また現在、休館日についても、ゴールデンウィークの開館や夜の開館についても検討中です。とにかく、市民の立場で誠実に対応する入館しやすい空間を目指しています。

さらに、図書館事業についても「本を好きになる子供を育てよう」を合言葉に計画しています。

図書館の仕事は、奥が深く図書館運営の新しい姿を 夢にお見せすることは難しいですが、日々前進する市民皆さんのための図書館をつくり上げていきます。よろしくお願いいたします。」



第2弾をお楽しみに

常任委員会の動き

「第1 常任委員会」(人・まちづくり委員会)

「第2 常任委員会」(くらし・健康づくり委員会)

第1 常任委員会

《平成21年1月15日開催》報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市幌糠市民センター設置条例を廃止する条例制定について
- 留萌市税条例の 部改正
・財政健全化計画における固定資産税の効果額の修正
・軽自動車税の効果額の修正について ほか

【政策経営室】

- 平成20年度補正予算説明資料について

【教育委員会】

- 市立留萌図書館条例制定について
- 留萌市文化センター等の指定管理者の指定 ほか

《平成21年2月12日開催》報告及び審議事項

【総務部】

- 平成20年度 一般会計補正予算について
・定額給付金等事業概要

【政策経営室】

- 平成20年度補正予算説明資料について

《平成21年2月19日開催》報告及び審議事項

【総務部】

- 平成20年度市税及び市税外収納状況について ほか

【産業建設部】

- 平成20年度除雪対策等について
- 留萌市環境美化パートナー制度について
- 留萌市農村交流センターの指定管理者の指定
- 留萌市北海道営土地改良事業分担金等徴収条例制定について ほか

【政策経営室】

- 第5次総合計画第3期(H21~23実施計画)新規事業について
- 留萌市地域活性化・生活対策基金条例について
- 留萌市債権管理条例について ほか

【教育委員会】

- 長期間学校を休んでいる児童生徒の対応状況
- 学校支援地域本部事業について

《平成21年3月3日開催》報告及び審議事項

【教育委員会】

- 陳情第1号 留萌市立幌糠小学校の閉校案の撤回を求める陳情について

第2 常任委員会

《平成21年1月14日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

- 留萌市国民健康保険条例の 部改正について
- 留萌市の特定事務を取り扱う郵便局の指定
- 留萌市コミュニティセンター設置条例の 部改正について

【健康福祉部】

- 留萌市報酬及び費用弁償支給条例の 部改正(案)
1) 障害者市町村審査会委員報酬について
2) 介護認定審査会委員報酬について
- 留萌市高齢者福祉サービス事業条例(案)について
<報告>
- 財政健全化計画における見直し対象事業について
1) 民生委員事業について
2) 児童館の運営方法と適正配置について
3) 高齢者入浴助成事業について

《平成21年2月18日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

- 平成20年度補正予算(案)について
- 平成21年度予算(案)について
- 留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の 部改正について
- 留萌市乳幼児医療費の助成に関する条例の 部改正について ほか
<報告>
- 地域公共交通活性化、再生総合事業について
- 平成21年度綿製品の回収方法の変更について
- 生ごみ堆肥の店頭販売の中止について
- 旧ごみ袋用差額シールの今後の取扱いについて

【健康福祉部】

- 平成20年度補正予算(案)について
- 留萌市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定(案)について
- 平成21年度予算(案)について
- 留萌市介護保険条例の 部改正(案)について
<報告>
- 休日保育のアンケート結果について
- るもい健康の駅(仮称)とるもいコホートピア推進事業について

【市立病院】

- 平成20年度病院事業会計補正予算(案)について
- 平成21年度病院事業会計予算(案)について
<報告>
- 平成21年度診療体制(見込み)について ほか

平成21年第1回定例会

一般質問の真意のみ
ご紹介いたします

菅原千鶴子 議員
(民主・市民連合)

- 1 景気対策と留萌市が今すべきこと
- 1 中小企業対策と競争入札排除と育成
- 2 経済活性化の取り組みと総合支援
- 2 地域で支える高齢化社会
- 1 高齢者実態調査を終えて
- 2 留萌市高齢者福祉計画の目指す姿
- 3 留萌市のホームページと携帯サイト
- 1 行政サービス
- 2 情報発信とネットの構築
- 4 市立病院の展望
- 1 赤字解消を円滑に進めるために
- 2 コホートピアと市立病院の連携

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

- 1 地域産業の育成と支援について
- 2 都市機能の充実について
- 3 健康の維持と増進について
- 4 地域医療の充実について
- 5 社会保障の充実について
- 6 災害に強い地域づくりについて
- 7 能率のよい市役所づくりについて
- 8 施策評価のデータ収集について

村上 均 議員
(留萌公明党)

- 1 地域防災、安心・安全の確保について
- 1 小中学校の耐震化診断について
- 2 災害時要援護者支援の取り組み
- 3 情報伝達対策
- 2 学校教育の諸課題について
- 1 子ども読書推進計画について
- 2 いじめ・不登校対策
- 3 小中学校への(AED)配備について

野呂 照幸 議員
(民主・市民連合)

- 1 雇用対策について
- 1 雇用対策の充実・強化について
- 2 離職者への支援について
- 3 地域の雇用創出について
- 2 地域の再生について
- 1 費用負担について
- 4 「ふるも」の再開について
- 1 ぶるも再開の基準
- 2 休止中のメンテナンス
- 3 再開時における経費
- 1 財政健全化と国の「地域活性化・生活支援臨時交付金」事業
- 2 国の08年度第2次補正予算関連事業の有効かつ積極活用
- 3 市立病院の「改革プラン」

坂本 茂 議員
(無党派・共産党)

- 1 財政健全化の取り組みについて
- 1 財政健全化と国の「地域活性化・生活支援臨時交付金」事業
- 2 国の08年度第2次補正予算関連事業の有効かつ積極活用
- 3 市立病院の「改革プラン」
- 1 財政運営について
- 1 特別委員会報告に対する見解と対処
- 2 新年度予算の歳入の課題
- 3 病院改革プランと当初予算
- 3 組織機構について
- 1 21年度以降の機構
- 2 勤続退職制度
- 3 組織の活性化
- 4 港湾事業について
- 1 課題と展望
- 2 物流調査
- 3 副港の緑地計画

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

- 1 新・財政健全化計画について
- 2 地域政策について
- 3 地方分権について
- 3 地上デジタル放送について
- 1 支援世帯について
- 2 離脱地域について
- 1 議員の意欲と組織体制
- 1 人事評価導入事業「評価者研修」について
- 2 留萌漁業振興とヘルスツーリズム
- 3 留萌ダム完成と留萌市の役割
- 4 地域活性化・生活対策臨時交付金について
- 3 留萌の宝「留萌人」を育てる方針
- 1 「育成すること」「評価すること」
- 2 小中学校の適正配置について
- 3 教育委員会の充実について

野崎 良夫 議員
(民主・市民連合)

- 1 新・財政健全化計画について
- 2 地域政策について
- 3 地方分権について
- 3 地上デジタル放送について
- 1 支援世帯について
- 2 離脱地域について
- 1 議員の意欲と組織体制
- 1 人事評価導入事業「評価者研修」について
- 2 留萌漁業振興とヘルスツーリズム
- 3 留萌ダム完成と留萌市の役割
- 4 地域活性化・生活対策臨時交付金について
- 3 留萌の宝「留萌人」を育てる方針
- 1 「育成すること」「評価すること」
- 2 小中学校の適正配置について
- 3 教育委員会の充実について
- 1 財政健全化と国の「地域活性化・生活支援臨時交付金」事業
- 2 国の08年度第2次補正予算関連事業の有効かつ積極活用
- 3 市立病院の「改革プラン」
- 1 財政運営について
- 1 特別委員会報告に対する見解と対処
- 2 新年度予算の歳入の課題
- 3 病院改革プランと当初予算
- 3 組織機構について
- 1 21年度以降の機構
- 2 勤続退職制度
- 3 組織の活性化
- 4 港湾事業について
- 1 課題と展望
- 2 物流調査
- 3 副港の緑地計画

この言葉の意味は？

最近気になる行政用語の解説をいたします

第1回定例会 般質問・答弁で使われていた医療用語について解説いたします。

「CS委員会」

Customer Satisfaction (カスタマー・サティスファクション)の略で「顧客満足」を意味し、医療においては患者がいかに満足してもらったかを測る指標、あるいはその指標を向上させる活動を指します。近年は、待ち時間・職員応対・設備・利便性など、患者や家族から意見・要望を聞く委員会を設置する病院が増えており、留萌市立病院にも設置されています。



3月19日、瀬静住民センターで開かれた新田委員長による「健康講話」後の市民との懇談風景

「アンチエイジング(Anti-Aging)」

「抗加齢」と訳され、留萌コホートピアでは『積極的予防医学』のことを指します。比較的新しい学問で、予防・治療・投薬、また毎日のケアやライフスタイルなど幅広い専門分野で内面から若返りをはかる方法や老化防止策の研究がなされています。



「エビデンス(Evidence)」

「根拠」を意味し、医学業界では臨床試験の研究データなど科学的根拠のことを指します。ちなみに「根拠に基づいた医療」のことは、EBM (Evidence-Based Medicine・エビデンス・ベースト・メディスン)と略されます。

「MSW」

Medical Social Worker (メディカル・ソーシャルワーカー)の略で 一般的には、「医療ソーシャルワーカー」と言われます。主に病院の患者等が、地域や家庭で自立した生活を送ることができるよう社会福祉の立場から心理的・社会的な問題の解決や調整を援助し、社会復帰の促進をはかる専門職を指します。現在の採用条件としては、「社会福祉士」や「精神保健福祉士」の資格を要します。

「インフォームド・コンセント (Informed Consent)」

「正しい情報を得た(伝えられた)上での合意」を意味し、「IC」と略されます。特に、医療行為などでは期待される結果だけでなく、副作用、成功率、費用、回復時期など正確な情報を伝えることが望まれています。概念として、「説明・理解」と「合意」のいずれも欠けないことが重要で、必ずしも提案された治療方針を患者が受け入れるということの意味しません。

「バイオマーカー(Biomarker)」

血液や尿に含まれる生体由来の物質で、体内の生物学的変化を定量的に把握するための指標を指します。疾病・病態・進行度を正確に反映する適切な指数で患者を分類し、個々に合わせた適切な薬剤を選択することで、効率的な治療が可能になります。

議会広報特別委員会から

3月30日付日本経済新聞の「ワイドニッポン」という全国版紙面に留萌市のニュースが載りました。久々のことです。残念ではありますが、喜ばしい内容ではありません。「財政健全化法1日全面施行 自治体どん底回避へ汗」という大きな見出しで、「北海道留萌市」「住民と対話徹底」として「新・財政健全化計画」と「温水プールぶるもの閉鎖」が紹介され、プールを利用してきた子供たちの悲しみや親たちの悲痛な声を紹介されていました。平成21年度予算案を審議する第1回定例会においても、各議員から「ぶるも休止」に反対の声が上がりました。しかし「第2の夕張だけは何としても避けなければならない」というジレンマに陥った3月議会でもありました。市民と行政、議会が共に助け合い協働で育て合う地方自治へ一歩ずつ進んでいくためにも、正しい情報を分かりやすく公開できる体制を目指していきます。

委員長 村山ゆかり/副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹

留萌市議会事務局

☎ 0164・42・1907 (直通) ☎ 0164・43・6700
E-mail rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp